

日本人から真の笑顔が消えてしまいました。

このままではいけない。ふる里を守る、国を守る。その先頭に立ちたい。私は、そんな思いで自民党総裁選挙に立候補しました。東日本大震災から一年半がたちました。あの震災の後、多くの日本人が、ふる里を強く意識するようになりました。人それぞれにふる里があります。みんな心にふる里を持っています。ふる里とふる里が結び合っていたから、この国には活力があった。そんな日本を取り戻したい。

民主党政権の下で日米同盟が揺らぎ、我が国領土への主権侵害が続き、我が国の平和と安全が著しく侵されています。日米関係を再構築し、国力を回復し、国を守る。そんな政治を創りたい。

老・壮・青の各世代の団結なくして、この国に未来はありません。担がれる側、担ぐ側、双方の理解と協力なくして、年金も医療も、介護も成り立ちません。日本人の心を一つに、しっかりと将来を見据えて、この難局に打ち勝っていききたい。

まっすぐに、心を一つに立ち向かえば、それは可能です。

世界と共生する強い経済戦略国家。ふる里に陽を当てる、活力ある福祉国家。家族に仕事を、富を、愛を。ふる里に、希望を。そして、国に安心と、安全を。そんな、まっすぐな国「日本」を皆さんとともに創る。そのために働かせて下さい。

石倉伸晃